

蓄電池産業戦略推進会議の開催について

1. 趣旨

2030年の温暖化効果ガス削減目標、2050年のカーボンニュートラルの達成に向けて、蓄電池は自動車の電動化、再エネの主力電源化を達成するための最重要技術の一つ。このため、諸外国においても、欧米等の政府が蓄電池のサプライチェーン確立に向けて政策を強化するとともに、産業界においてもスタートアップや異業種からの参入を含め、蓄電池のバリューチェーン構築に向けた投資の活発化や産業構造の変化が起きつつある。

このようなグローバルな環境の変化の中、日本の蓄電池産業は技術的優位及び産業競争力を徐々に失いつつある。今後、2030年、2050年に向けて急激に拡大していく市場の中で、官民等の関係者が、問題意識を共有し、日本の蓄電池産業界が再び競争力を取り戻すための方策について、これまで「蓄電池産業戦略検討官民協議会」において議論を行い、昨年8月末に蓄電池産業戦略を策定した。

この蓄電池産業戦略に基づき、今後、具体的な施策や取組を進めるに当たり、産官学が連携して推進することが必要であることから、「蓄電池産業戦略推進会議」において施策や取組の具体化に向けた議論を行う。

2. 推進事項

蓄電池産業戦略において定めた7つの柱を中心に議論を行い、戦略の推進を図る。

- ①国内基盤拡充のための政策パッケージ
- ②グローバルアライアンスとグローバルスタンダードの戦略的形成
- ③上流資源の確保
- ④次世代技術の開発
- ⑤国内市場の創出
- ⑥人材育成・確保の強化
- ⑦国内の環境整備強化

3. 会議の概要

- 開催頻度：年2回程度。集中的な議論を要するテーマが生じた場合はWGを設置することも検討。
- 事務局：経済産業省商務情報政策局
- 議事の公開：議論の内容は原則非公開とする。議事概要を作成し、資料とともに公表する。ただし、事務局が必要と認める場合は、議事、議事概要、資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

4. メンバー

「資料3 委員一覧」のとおり